

2 下水道事業会計

〔概要〕

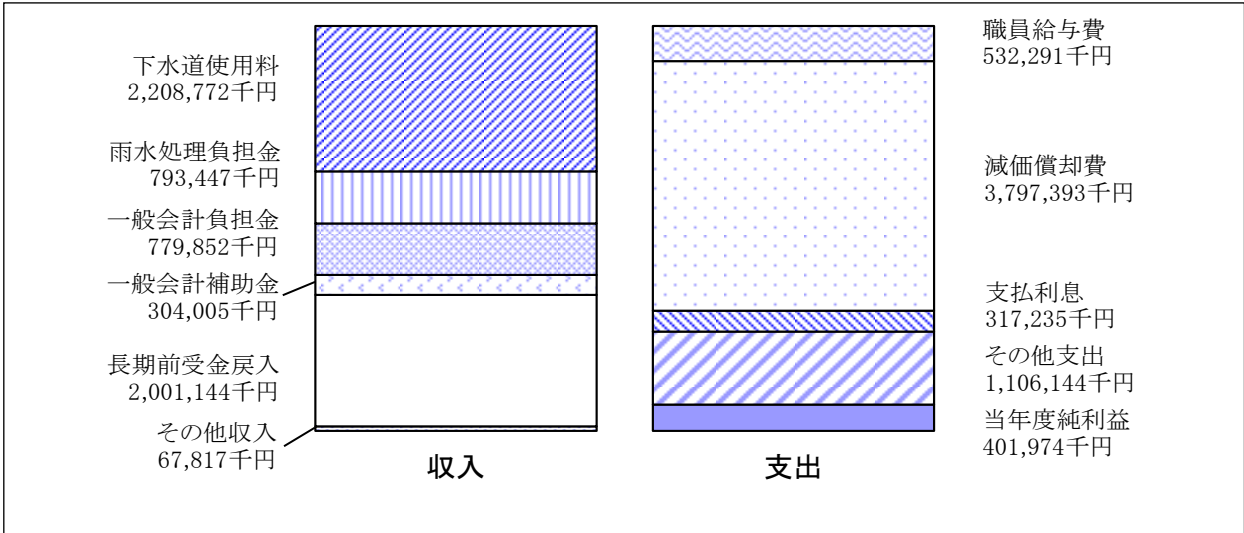
令和3年度の下水道事業の運営については、新たに浜田川以東の東・西岐波地区を事業区域に加え、快適な生活環境の確保、公共用水域の水質保全及び雨水浸水被害の軽減を図るため、施設の維持管理及び計画的かつ効率的な施設整備等を実施しました。主な事業としては、東部浄化センター汚泥処理電気設備工事、玉川ポンプ場建設工事、中川15号雨水幹線工事、厚南1-1号汚水幹線工事を実施しました。また、浜田川以東においては、東岐波地区の汚水面整備等を実施しました。

汚水処理状況については、汚水整備戸数が98戸(前年度比280.0%)で、新たに阿知須処理区を含めた普及率は78.6%となり、年間総処理水量は20,504,243 m³(前年度比101.9%)で、有収水量は12,929,956 m³(前年度比104.4%)となりました。

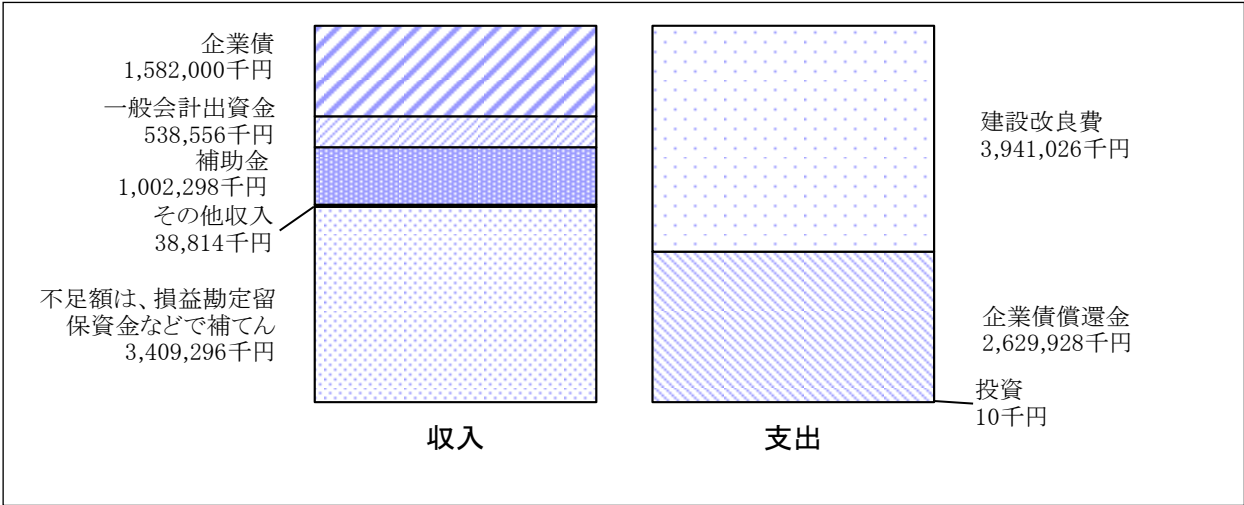
経営成績については、事業収益は6,155,037千円に、事業費用は5,753,063千円となり、収支差引の結果、当年度純利益は401,974千円に、また、当年度未処分利益剰余金は703,556千円となりました。

一方、資本的収支については、収入3,161,668千円(翌年度繰越工事財源1,455,854千円を除く)、支出6,570,964千円となり、差引不足額は、3,409,296千円となりましたが、これは、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額138,845千円、繰越工事資金1,087,738千円、減債積立金200,000千円、建設改良積立金47,000千円、過年度分損益勘定留保資金163,961千円及び当年度分損益勘定留保資金1,771,752千円で補てんしました。

〔収益的収支〕



〔資本的収支〕



※資本的収入額は、翌年度繰越工事財源の額を控除した額